

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》12月17日

「教育大実習」in 余市村

2泊3日のテーマ「クリスマス大パーティー」
ケーキ班、料理班+冰雪ツリー班!

INDEX

- P1: 巻頭言/
P2: ヒューマンラスト/
スクール動向、会費納入、他
p3: スタッフ挨拶〜今年は..
p4-5 教育大実習第3回目
〜4年生の授業から
p6: ↓ 余市村での2泊3日
p7: ↓ 子ども館体験会
p8: 理事会報告、カンダー他

『明日に架ける橋』、それを繋ぐ営み

代表理事 吉野 正敏

本年は「自由が丘」が教育実践を開始して18年目を迎えます。この継続はひとえに会員・読者・関係者の皆様によるご支援に拠るものとして改めて御礼申し上げます。

標題はS&Gの名曲で、歌詞「荒海に架ける橋のように、生きる困難に直面する君(友・仲間・恋人..)に自分の身を横たえよう」は当時代へのメッセージです。私達は日本の戦前から続く学歴偏重・画一集権的学校制度に対峙して、様々に「重い荷物」を抱える子ども達や家庭への支援を持続しながら北海道発の『人間形成的教育』を追求してきました。ささやかですが「一つの橋づくり」ともいえます。

現在も経済格差・貧困が引き続き、人々のライフセービングを含む生活設計を期待できる状況ではなく、とりわけ子どもの6人に一人が貧困という厳しい現実です。憲法が掲げる『教育学習権』を大人社会が未来の担い手に保障せねばなりません。このような情勢と私達の姿勢(理念・方向性)から、次の二点を今年及び今後の重点テーマとしたいと考えています。

(1) 子ども達の学び成長する場の拡充

- 中学+小学生受入増加:学年別個別対応+コア教科・体験的メニュー充実、生徒主体の運営
- 困難家庭児童への支援:経済サポート+中学生学習付加、新たな教室設置「土曜子ども村」(仮称)

(2) 「新しい認可学校設立」への展望づくり

- 理事有志(現職教員)が発起初動:当面1.2月普及集会/職場・地域に発信+自治体打診(8ページ参照)
- 今はNPO方針ではなく本人中心にネットワーク構築、それをサポートしながら組織半断(↓)

時代は転換期です。自然/森を愛し物質主義の人間社会の有り様を説いたソローに倣い、これら二点が【次の架け橋*】につながるべく努力していきます。ご意見・ご鞭撻をお願いします。

*注:『ウォルデンの生活』(1854年)「もし必要なら川に架ける橋を一つだけ儉約しても、少し回り道をしてよいから..もう一つのアーチを投げかけようではないか」~本文では知的アーチ=読書価値を強調(この付近に外へリ谷がある)